



# 豊東小だより

令和元年 10月31日 11月号  
練馬区立豊玉東小学校  
校長 梅津 靖子

秋といえば・・・

校長 <sup>うめ つ やす こ</sup> 梅津 靖子

運動会では、保護者・地域の皆様のご協力と温かなご声援をいただき、全校児童が日頃の学習の成果を発揮し、達成感と満足感を十分に感じることができました。30度を超える暑さの中、応援だけでなく、準備から後片付けまでご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

運動会が終わると季節は一気に移り変わり、秋が日一日と深まってきました。秋と言えば・・・

**【読書の秋】** 10月には、秋の読書旬間がありました。23日の図書集会では、図書委員の児童が各教室に分かれて読み聞かせをしました。日頃より、図書館開放の方々から読み聞かせをしていただいているので、どの学年でも楽しみながらお話の世界に浸ることができていました。給食のメニューにも、「おいしい読書・つながる給食」として、絵本に出てくるメニューが登場しました。たとえばこのようなメニューです。「ころもうみ・くもぐちゅらん・まんげつぶちゅっと（『ぜったいたべないからね』ローレン・チャイルド作）」



図書委員の読み聞かせ

「おそのさんのバタパン・キキの肉団子（『魔女の宅急便』角野栄子作）」「子ぎつねのきびだんご（『雪渡り』宮澤賢治作）」どのようなメニューか想像が付くでしょうか。読書を通して美味しそうな食べ物を想像してみるのも楽しいものです。さて、子どもたちは、家庭でどれくらい読書に親しんでいるのでしょうか。私が小学校低学年の頃に、世界の童話の絵本に夢中になりました。シリーズもので、毎月一冊ずつ届きます。私は、その本が届くのが楽しみでした。なぜなら、その本が届くと、母が読み聞かせをしてくれたからです。「オズの魔法使い」「青い鳥」「赤い靴」「雪の女王」等々、何度読んでもらっても飽きることはありませんでした。それから、友達と一緒に図書館に本を借りに行くことが楽しみになりました。高学年になると、シリーズものにも心を惹かれ、特に、「大草原の小さな家」シリーズは大好きでした。本の世界は、普段の生活からは想像もできないところに連れて行ってくれます。様々な見方や考え方をその世界で感じ取ることができるのが魅力です。秋の夜長の過ごし方の一つとして、家族で読書を楽しむ時間を作ってみるといいですね。

**【芸術の秋】** 10月25日には、豊二中で小中合唱交流会が行われ、6年生が、やわらかで素敵な声で合唱を披露してきました。また、29日には、練馬区小学校連合音楽会が練馬文化センター大ホールで開催され、5年生が合唱と合奏を発表しました。プログラム1番。他校に比べると人数は少ないのですが、美しく伸びやかな声会場いっぱいに響き渡りました。合奏も、菊池先生の指揮に合わせ、音楽を皆で創り上げていきました。その集中力は最後まで途切れることなく、素晴らしかったです。5年生の合唱は、11月23日の午後に予定されている「65周年記念チャリティーコンサート（主催：歴代PTA会長会）」においても、その歌声を披露することとなっています。



連合音楽会に向けた発表

11月22日（金）・23日（土）は、いよいよ展覧会です。子どもたちが図工の時間に作ってきた絵画や立体作品、家庭科の作品を展示いたします。共同作品もあります。ご来校いただき、ぜひじっくりと作品の一つ一つをご鑑賞ください。そして、子どもたちの頑張りや工夫を見付け、声をかけていただけますと幸いです。

**【ふれあいの秋】** 11月は「ふれあい月間」です。2年生の秋のカードを読んでいると、秋といえば「台風」と書いている児童がいました。千葉や九州に大きな被害出ていること、家族を失った人や命を失った人のことを考えるとかわいそうだと書かれていました。他者の心の痛みに気付き寄り添う気持ちが伝わってきました。友達との関わり、先生や家族、地域の方との関わりについて振り返り、思いやりや感謝の気持ちを行動にすることを全校で考え実践していきたいと思います。11月5日は、クリーン作戦の日です。地域にある公園などの清掃活動を行います。地域の方と一緒に活動します。地域の一員として活動することを体験します。保護者の方々もどうぞご参加ください。

